

「新しい価値へのチャレンジと学校支援ネットワーク」

指導・講評

尾木 和 英先生

東京女子体育大学名誉教授

1 新しい価値へのチャレンジ

OECD（経済協力開発機構）における検討から
＜学びの羅針盤＞

○知識

複雑な問題や要求にこたえるための知識
様々な問題に対応するために考える力

○スキル

知識を活用するための知識
思考力、創造力、学び方を学ぶスキルなど
共感する、自己効力感を育てる、協働のためのスキルなど
実用的なスキル、IT機器を活用するスキルなど

○態度及び価値

意欲、信頼、生命や人間の尊重など

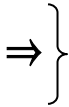
⇒ ①新しい価値を創造する力 ②緊張やジレンマを調整する力 ③責任ある行動をとる力



2 授業改善の視点

○自己肯定感への着目

「自分にはこれができる」
「これをやり遂げる力が自分にある」
「将来こんなことにチャレンジしたい」



学び方を学ぶスキルに着目する授業
学び合い、協働を大切にする授業
意味ある他者を実感する授業

＜育成を目指す資質・能力の三つの柱＞

- 1 知識及び技能が習得される
- 2 思考力、判断力、表現力等を育成する
- 3 学びに向かう力、人間性等を涵養する

3 授業改善の緊急課題

（学習指導要領、前文及び総則から）

- 自分の良さや可能性を認識する
- 多様な人々と協働しながら社会変化を乗り越える

* 支援ネットワークの重要性

- ・学習活動の開発
- ・多様な方々との交流、経験の拡大
- 豊かな人生を切り開く
- 持続可能な社会の創り手
- 家庭（地域）との連携
- カリキュラムマネジメント

4 支援ネットワーク事業の意義

- 1 地域や企業等の教育力導入
⇒新しい学習活動
⇒学校の活性化
- 2 子どもの生きた学習の機会
⇒講師の方々から知識や知恵を学ぶ
⇒社会生活にかかわっての知識や技能を学ぶ
⇒人間関係の在り方を学ぶ

自分の将来について考える機会を得る

* キャリア教育との関連

- ⇒情報活用の仕方を学ぶ
- ⇒自分の意志の決定の仕方を学ぶ
- 3 教員が授業改善のヒントを得る
⇒学び合いを通しての学習の開発
⇒キャリア教育に結びつく学習の開発

講師略歴 東京都教育委員会主任指導主事、同多摩教育事務所指導課長、東京女子体育大学教授、文部科学省視学委員等を経て現在は東京女子体育大学名誉教授。その間に中央教育審議会専門委員、教育課程審議会教科等別委員、学習指導要領改善調査研究協力者、不登校問題調査研究協力者、生徒指導提要作成協力者、国立教育政策研究所学校改善プロジェクト専門委員等を務める。著書・編著書に「自己指導能力を育てる」（ぎょうせい）、「自己指導力・社会性を育てるPDCA」（教育開発研究所）、「学校力」（三省堂）、「思考力を育てる論理科の試み」（明治図書）、「生徒指導提要进行理解する実践する」「教育改革・学校改革がわかるキーワード200」（学事出版）等がある。